



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/~kivosedai/kyuuzakku/index.htm>

ウルトラソウル

メロディ

究極魂 ～心に響け！ 青春の歌声～

令和7年度 第44回 合唱コンクール in 所沢市民文化センターMUSE 2025,10,10 (Fri)



最優秀賞：3年C組、2年C組、1年B組

※家庭配布版では、指揮者賞の生徒4名をご紹介します。

学校行事や総合的な学習などで、多彩な人々とチームを組み、何かを作りあげて、成し遂げた経験は、社会に出て必要となる「主体性や実行力」、「計画力や想像力」、「発信力や傾聴力」などの基礎的な能力を培う学びと言えます。コンクールなので最優秀賞という目標と、当日の結果がありますが、目的とする学びは、取り組み期間の中にあります。開会式の挨拶で、生徒の皆さんに当日までの様子を少し振り返ってもらいましたが、その中で心に蘇ったものが、一人ひとり異なると思いますが、この行事での成果だと思います。

学級で作上げた合唱は、形のある「もの」ではありませんので、演奏を終えると消え去りますが、真っすぐな1年生の歌声、昨年の経験から上積みし、力強さが増した2年生の合唱、青年期入口で今のこの時しかない澄んだ音色と響きのある3年生の演奏は、その場を共有した人々の心に、いつまでも最高の「もの」として記憶されると思います。この合唱コンクールを作り上げてくれた生徒の皆さんに感謝します。また平日にも関わらず、参観くださった来賓や保護者の皆様、そして、ご多用の中、閉会式で講評を頂いた教育長の坂田様には、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。(来場者数：ご来賓 15 名、保護者の皆様 315 名※学年重複含)

実行委員の皆さんのチームワークは最高でした。

実行委員の生徒の皆さんは、別行動で一足早くホールに行き、吊り看板や舞台の設置、受付・会場準備を手伝ってもらい、帰りも別行動で片付けをしてくれました。1学期の実行委員会準備から学級での話し合い、練習期間のマネジメント、そして当日の司会進行まで、コンクールが成功したのは、皆さんの力と努力のおかげです。ありがとうございました。

航空公園の草むらに、響きわたる歌声

前日まで、すっきりとしない空模様でしたが、朝から青空が広がり、清瀬駅から班行動で集まってきた生徒たちは、航空公園駅から集合場所のホール横の広場まで、金木犀が香る公園の中を散歩気分歩いて向かい、到着確認後は、会場入りまでの時間を使って学級ごとに練習をしました。青空の下、草むらで歌うのは気持ちよさそうでした。同時刻、会場内では指揮者と伴奏者が、短時間ずつですが、ピアノを使って音合わせをしました。3年生は昼休みの時間を使って、会場での練習があったのですが、朝から心の入った練習をしていました。1・2年生にとっては、その様子を知ることでも学びでした。

※ 紙面内の動画は、限定公開です。10/31(金)まで



野原練習 動画


<https://youtu.be/KEP4Dbq5TWs>

学年合唱 動画



1 学年

<https://youtu.be/1rmeUuBoc>


2 学年

<https://youtu.be/C1oanGKhb2>


3 学年

<https://youtu.be/2wvCBoc7Td>

10/21(火)の 新月の夜に、彗星と流星をながめよう！

～月明かりがない、新月の夜は絶好の観測チャンス！～

10/6は中秋の名月で、雲間から、美しい満月（実際の満月は10/7）を楽しむことができましたが、月明かりは眩しく、星座の星たちは月の明るさに負けてしまいますので、星座や星を見るには、新月の夜が良いです。

そして、10月の新月(10/21)の日は、ちょうど「オリオン座流星群」の極大日になります。出現する数は、1時間に10個程度と多くはありませんが、見つけやすいと思います。

さらに今年発見された「レモン彗星」と「スワン彗星」という2つの彗星が明るさを増してきており、10/20と21が地球に最接近をするので、絶好の観測チャンスとなります。

「レモン彗星」と「スワン彗星」と「オリオン座流星群」のトリプル観測に挑戦

予想される彗星の明るさは、レモン彗星が4等星、スワン彗星が6等星で、街灯りが邪魔になりますが、清瀬の空でも、目を凝らすと、肉眼でも確認できる可能性があります。双眼鏡を使えば、より観測しやすいです。肉眼で見えなくても、デジタルカメラやスマホのカメラを三脚などで固定して星空モードで撮影すれば、映る可能性は高いです。彗星と流星のコラボが見られるかもしれません。

両彗星とも、夜空を日に日に移動していますので、観測できる位置も時間帯もかわります。現在、地球から見て、太陽の方にいますので、日の出前の東の空か、日の入り後の西の空になります。

「スワン彗星」最接近日 10/20(月)

2025年9月に、太陽観測衛星 SOHO の SWAN 装置で発見されました。この装置では他に彗星を発見しており、全部 SWAN 彗星という名称で呼ばれています。10/20(月)に地球に最接近し、6等星くらいの明るさになります。この日は、日没後の南南西の高度30度に見えます。

「レモン彗星」最接近日 10/21(火)

2025年1月に、アメリカのレモン山天文台で発見されました。10/21(火)が地球に最接近し、4等星まで明るさが増すとの予想です。この日は、日没後の西北西、高度10度くらいの低空に見えます。4等星の明るさの予想なので、雲が気になります。

「オリオン座流星群」極大日 10/21(火) オリオン座は、夜遅く東の空に昇ってきます

星座図での姿は、左手に盾（ライオンの毛皮）を持ち、右手でこん棒を振り上げている姿ですが、その右手付近に放射点があり、赤い一等星ベテルギウスの右上付近から、四方八方へ流れていきます。

オリオン座流星群の母彗星はハレー彗星

流星群の多くは、彗星が太陽に近づいたときに溶けて、軌道上にばらまいた塵（小石など）で、もとになった彗星を母彗星と呼びます。オリオン座流星群の場合は、春のみずがめ座流星群と同じ、あの有名なハレー彗星です。ハレー彗星は大型で、毎回大きな尾ができて、ハッキリと肉眼で見ることができます。1986年の前回は、4等級位まで明るくなりました。公転周期は76年で、生涯に1度は見ることができる彗星ともいわれています。次にやってくるのは36年後の2061年夏で、皆さんが50歳頃です。軌道の条件が良く、0等級位まで輝くのではと予想されています。楽しみです。

